

第62回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会のご案内（第I報）

第62回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会

大会長 佐々木 朗
準備委員長 西山 明慶

第62回（公社）日本口腔外科学会総会・学術大会を下記の要領で開催いたします。
会員各位の多数の演題発表と学会参加をお願い申し上げます。

会 期：2017年10月20日（金）・21日（土）・22日（日）
【理事会・総会（代議員会）等は10月19日（木）に開催いたします】

演題募集期間：2017年3月1日（水）正午～4月28日（金）正午

事前参加登録期間：2017年4月19日（水）正午～8月25日（金）正午

会 場：国立京都国際会館
〒606-0001 京都府左京区宝ヶ池
TEL：075-705-1229 FAX：075-705-1100
<http://www.icckyo.or.jp/index.html>

第62回学術大会ホームページ：
HP：<http://www.congre.co.jp/jsoms2017>

学 会 テ ー マ：現状をみつめ、次世代そして未来を考える
— Look beyond the present and future for the next stage —

我が国では社会構造の変化や超高齢化社会により医療環境が変化する一方で医療技術面では分子標的治療や再生医療、医療用ロボットや遠隔医療などの研究開発が進められ、これらの新技術が口腔外科の医療にも組み込まれるようになってきました。現在の状況にどう対処し、どう向き合い、そして将来に向けて何をすれば良いのかを古都京都でじっくり議論していただき、口腔外科の方向性について考えていただく機会になればと思います。学術大会のテーマを「現状を見つめ、次世代そして未来を考える」とさせていただきます。次世代へ向けたテーマの公募ワークショップも企画いたしました。またIAOMSの新旧の理事長の参加も予定しています。多数の先生方のご参加をよろしく願いいたします。

現在、下記の企画について鋭意準備させて頂いています。なお、企画の詳細は日時・会場等が決まり次第学術大会ホームページ上で随時更新いたしますので、ご確認ください。

秋の観光シーズンにくわえ大会最終日には京都三大祭りの一つ時代祭りがあるため、大会の宿泊予約サイトを含め早めに宿泊先を確保されますことをおすすめいたします。京都市内のみならず鉄道でのアクセスの良い周辺沿線に宿泊を確保されるのも一案かと存じます。

I. 学術大会企画(案)

1. 国際合同企画

- 1) 第6回日独セッション 10月20日(金)
- 2) 第2回日中合同シンポジウム 10月20日(金)
- 3) 日台姉妹提携10周年記念シンポジウム 10月21日(土)

2. 海外招聘講演

- 1) マイアミ大学 口腔顎顔面外科 Prof. Robert E. Marx (USA)
「BRONJの外科療法」(仮題)
- 2) テキサス大学 MD Anderson Cancer Center A. Prof. Stephen Y. Lei (USA)
「頭頸部がんの診断・治療」(仮題)

3. IAOMS 前理事長講演

- 1) IAOMS 前理事長 Hospital Universitario Quirónsalud Madrid Prof. Julio Acero Sanz (Spain)
- 2) IAOMS 新理事長 Northwestern University Prof. Alexis B. Olsson (USA)
「演題未定」

4. 特別講演

- 1) 米国インディアナ大学医学部血液腫瘍学 米田俊之 教授
「骨における骨痛の発症メカニズム」(仮題) 10月21日(土)
- 2) 慶應義塾大学先端生命科学研究所 福田真嗣 特任准教授
「もう一つの臓器, 腸内細菌叢の機能に迫る」 10月21日(土)

5. 教育セミナー

- 1) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科咬合有床義歯補綴学分野 皆木省吾 教授
「夢の会話プロジェクト」(仮題)
- 2) Dr. Rafael E. Alcalde (米国口腔外科専門医: Miami, USA)
「米国における顎変形症治療」(仮題)
- 3) 演者交渉中
「口腔外科医のための形成外科手術手技(基本手技)」
- 4) 弘前医療福祉大学 木村博人 教授
「領域問題について」(仮題)

6. シンポジウム(順不同)

- 1) 口腔3学会合同シンポジウム(企画中)
- 2) シンポジウム1:「口腔外科治療の最新テクノロジー」(仮題)
- 3) シンポジウム2:「MRONJ・BRONJ 関連」(仮題) * Keynote: 米田俊之 教授
- 4) シンポジウム3:「口腔外科領域における人工材料の現状と未来」(仮題)
- 5) シンポジウム4:「病院歯科口腔外科シンポジウム」(企画中)
- 6) シンポジウム5:「女性口腔外科のために Part II」
- 7) シンポジウム6:「口腔がん早期発見システム」(仮題)

7. 指名 Workshop

- 1) 指名 WS 1:「難治性骨髄炎の治療」
- 2) 指名 WS 2:「顎関節骨折の外科療法」(仮題)
- 3) 指名 WS 3:企画中

8. 公募 Workshop

- 1) 公募 WS 1:口腔外科医の次世代育成「手術技術をいかに継承するか」
- 2) 公募 WS 2:口腔外科小手術の Tips「私はこうしている」
- 3) 公募 WS 3:口腔外科領域におけるナビゲーション
- 4) 公募 WS 4:口腔外科領域における内視鏡
- 5) 公募 WS 5:粒子線治療と管理
- 6) 公募 WS 6:手術シミュレーション
- 7) 公募 WS 7:線維骨病変の診断と治療
- 8) 公募 WS 8:口腔領域の難治性疼痛
- 9) 公募 WS 9:難治性口内炎の病態と治療

9. 公募 Poster Discussion

- 1) 診断・治療に難渋した症例の検討会(より質の高いゴールを目指して)
- 2) 病院歯科(病院歯科口腔外科の現状・克服すべき課題・取り組み)
- 3) 医科・歯科連携(周術期)
- 4) 口腔がん検診

10. 口腔外科スキルアップのためのミニレクチャー・ビデオレクチャー(約40演題)

一般演題発表の日時などが決定したのち、学術大会ホームページに、開催日時、企画内容、講師、参加費、登録方法等の詳細を掲載しますので、奮ってご参加願います。

11. 口腔外科スキルアップのためのハンズオンコース(予定)

一般演題発表の日時などが決定したのち、学術大会ホームページに、開催日時、企画内容、講師、参加費、登録方法等の詳細を掲載しますので、奮ってご参加願います。

12. ランチョンセミナー(開催日時、内容、演者等未定)

13. 併催会議・研究会等

- 1) 第43回全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 (10月20日)
- 2) 第32回日本病院歯科口腔外科協議会総会・学術集会 (10月20日)
- 3) 口腔がん登録制度説明会 (10月20日)
- 4) 第11回歯科衛生士研究会 (10月21日)
- 5) 第13回歯科・口腔外科看護研究会 (10月21日)
- 6) 口腔細胞診セミナー (10月22日)
- 7) 口腔外科 ECC トレーニングサイト AHA-BLS コース (10月22日)

14. 市民公開講座(10月29日(日) 午後 岡山大学 J-Hall 岡山市)

Ⅱ. 演題募集要項

第62回(公社)日本口腔外科学会・学術大会に演題を募集される方は、以下の募集要項に従ってお申し込みください。なお、詳細は随時学術大会ホームページに掲載しますので、演題応募の際は必ずご確認ください。

1. 演題募集期間

2017年3月1日(水)正午～4月28日(金)正午

2. 演題申し込み資格

「筆頭演者」および「共同演者」は(公社)日本口腔外科学会の会員に限ります。未入会の方は、演題申し込み前に下記学会事務局にご連絡の上、手続きを行ってください。但し、日本歯科放射線学会ならびに日本臨床口腔病理学会との申し合わせに基づき、両学会会員が「共同演者」になる場合、本学会の会員資格は必須ではありません。

(公社)日本口腔外科学会事務局

〒108-0074 東京都港区高輪2-20-26-202

TEL: 03-5791-1791 FAX: 03-5791-1792 E-mail: office@jsoms.or.jp

学会ホームページ: <http://www.jsoms.or.jp/>

3. 演題申し込み方法

学術大会ホームページ(【URL】<http://www.congre.co.jp/jsoms2017/>)にアクセスし、UMINオンライン演題登録システムによる申込に限ります。

以下、演題申込に関する詳細は、必ず当ホームページを参照してください。

4. 演題登録区分

口演発表(優秀口演発表賞へのエントリーなし)

口演発表(優秀口演発表賞へのエントリーあり)

示説【ポスター】発表(優秀ポスター発表賞へのエントリーなし)

示説【ポスター】発表(優秀ポスター発表賞へのエントリーあり)

公募 Workshop(口演)

公募 Poster Discussion(示説)

5. 抄録作成要項

日本口腔外科学会雑誌の投稿規程および用字用語例などに準拠して作成してください。

また、学会ホームページにある「医学論文における患者プライバシー保護ならびに研究倫理に関する指針」を遵守してください。

研究報告の場合【緒言(目的)】、【材料(対象)・方法】、【結果】、【結論】を

症例報告の場合【緒言】、【症例の概要】、【結果(結語)】を必ず記載してください。

6. 抄録（日本語）の文字数等の制限について

演題名：全角 40 文字以内，抄録本文：全角 600 文字以内，総文字数（演題名・著者名・所属施設名・抄録本文の合計）：全角 1,000 文字以内，著者数（筆頭著者＋共著者）：10 名以内，所属施設数：7 施設以内とします。

7. 抄録（英語）の文字数制限について

演題名：20 words 以内，抄録本文：400 words 以内，総文字数（演題名・著者名・所属施設名・抄録本文の合計）：800words 以内，著者数（筆頭著者＋共著者）：10 名以内，所属施設数：7 施設以内とします。

8. 優秀口演発表賞ならびに優秀ポスター発表賞へのエントリーについて

事前審査の日程上，優秀口演発表賞・優秀ポスター発表賞の演題募集の締め切り日（4月28日）を厳守してください。なお，一般演題募集の締め切りが延期された場合でも，本賞の応募締め切りは延期いたしませんのでご注意ください。

1) 優秀口演発表賞

① 応募方法

エントリー制を採用します。本賞へのエントリーを希望する方は，演題応募の際，600 字以内の抄録の他に 1,000 字以内の追加抄録を同時に提出してください。追加抄録には，研究内容の意義と，その中で今回の発表結果から得られた知見を明示し，さらに今後の展望について記載してください。なお，審査対象演題は「基礎的研究」と「臨床的研究」の 2 部門としますので，エントリーに際し必ずいずれかを選択してください。単なる症例報告は審査対象とはなりません。

「基礎研究」「臨床研究」の定義

「臨床研究」：医療における疾病の予防法，診断方法及び治療方法の改善，疾病原因及び病態の理解並びに患者の生活の質の向上を目的として実地される人を対象とした研究

「基礎研究」：「臨床研究」以外の研究。

例) 臨床材料（組織，細胞，標本）を用いて予後など臨床的な検討を行ったものは臨床研究に入ります。

※ 「選考委員会の判断で演者の選択したカテゴリーを変更する可能性があります」

② 審査方法

学術奨励賞等選考委員会が，エントリーされた演題の抄録と追加抄録を事前審査し，15 演題をノミネート演題として採択します。

その中から，学術大会における口演発表内容等を併せて審査し，7 演題に本賞を授与します。さらに，最優秀口演発表賞として，7 演題の中から 1 演題に李春根賞を授与します。

なお，ノミネート演題に採択されなかった演題は，一般口演演題として採用します。

2) 優秀ポスター発表賞（ゴールドリボン賞）

① 応募方法

抄録本文は「600 字以内」のみで，追加抄録は不要です。

② ポスター発表内容は英文で記載。

③ 審査方法

学術奨励賞等選考委員会がエントリーされた演題の抄録を事前審査し、約 50 演題をノミネート演題として採択します。

その中から、優秀ポスター発表賞評価委員会が、学術大会におけるポスター発表内容等を併せて審査し、約 20 演題に本賞を授与します。

なお、ノミネート演題に採択されなかった演題は、一般ポスター演題として採用します。

※ 優秀ポスター発表賞にエントリーするポスターは、学会の国際化に向けた取り組みの一つとして、英文での表記とします(抄録は日本語です)。

9. 発表形式

演題申し込み時に必ずご希望の発表形式を選択してください。なお、演題採択時に発表形式の変更を指示させていただく場合もありますのでご了承ください。

① 口演発表

ノミネート演題の発表時間は 1 題 9 分・質疑応答 3 分、一般口演演題の発表時間は 1 題 7 分・質疑応答 3 分を予定しております。口演発表は Microsoft PowerPoint を用いた発表に限り、スライド枚数の制限はありませんが、時間厳守でお願いします。

② 示説(ポスター)発表

発表時間は 1 題 3 分・質疑応答 2 分を予定しております。

ポスターのサイズは、幅 90cm×高さ 180cm 以内とします。ポスター上部の幅 70cm×高さ 20cm のスペースに「演題名、発表者名(演者に○)、所属施設名」を貼付し、その左側に幅 20cm×高さ 20cm のサイズで「発表者の顔写真」を貼付してください。「本文」の貼付スペースは幅 90cm×高さ 160cm 以内とします。

なお、演題番号は学術大会事務局が準備します。また、配布資料(A4に縮小印刷したポスターあるいは発表内容をまとめたもの)30部を必ずご用意ください。

③ 演題の採否

申込演題(公募演題を含む)の採否および発表形式の決定は、学術大会企画運営委員会にご一任ください。

口演発表希望の場合でも示説発表として、示説発表希望の場合でも口演発表として採択される場合がありますのでご了承ください。採否結果のご連絡は、7月下旬頃にメール等にてお知らせする予定です。

④ 利益相反(COI)の開示について

演題登録に際して、筆頭著者は利益相反(COI)の開示が必須となりました。

演題登録画面で、「利益相反(COI)状態」の項目にて「有・無」を選択ください。

「有」の場合は、大会 HP よりダウンロードした申告書に必要事項をご記入の上、運営事務局(株式会社コングレ京都支店)まで FAX (075-212-0691) にて送付ください。

Ⅲ. 学術大会(以下「学会」)事前参加登録、学会参加費について

1. 学会の事前登録ならびに学会参加費前納について

学会当日の混乱を回避するため、事前参加登録と参加費前納にご協力願います。

事前参加登録期間：2017年4月19日(水)正午～8月25日(金)正午です。

2. 学会参加費

第62回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会における学会参加費は下記の通りです。

正会員の皆様には、学会ホームページより「学会参加費の前納(事前参加登録)」にご協力願います。

記号	資格区分	学会参加費 (事前)	学会参加費 (当日)
A	正会員	14,000円	16,000円
B	準会員, 口腔外科関連医療従事者	取り扱いません	3,000円
C	非会員(歯科医師・医師・患者支援団体等)	16,000円	18,000円
D	一般市民/患者・患者家族	取り扱いません	3,000円
E	学生(歯学部・歯科大学および医学部・医科大学に在学中の学部学生 歯科衛生士養成学校・看護師養成学校等に在学中の学生)	取り扱いません	無料

3. 学術大会プログラム号ならびに抄録集の送付・販売について

第62回(公社)日本口腔外科学会・学術大会では「抄録集 CD 付きプログラム号」を日本口腔外科学会雑誌大会特別号(第63巻 別冊)として2017年9月下旬頃, 本学会正会員の皆様に送付予定です。また, 別途印刷した「第62回(公社)日本口腔外科学会学術大会抄録集」は, 学会参加費を前納(事前登録)した正会員および非会員に2017年9月下旬頃, 送付予定です。

学会当日に参加費を納入された正会員には抄録集のみをお渡ししますのでプログラム号はご持参ください。また, 非会員(記号C)にはプログラム号と抄録集をお渡しします。

なお, 「抄録集 CD 付きプログラム号」および「第62回大会抄録集」は, いずれも学術大会期間中, 総合受付にて各々1,000円で販売いたします。

4. 託児所について

受け入れ人数に限りがございますが, 本大会におきましても託児所の設営を予定しております。準備が整い次第, 学術大会ホームページから事前予約を受け付けますので, ご確認ください。

IV. 学術大会参加登録・演題申し込み・プログラム・企画内容などに関するお問い合わせ先

【大会事務局】 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔顎顔面外科学分野
第62回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会準備委員会
準備委員長: 西山 明慶(にしやま あきよし)
〒700-8525 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1
E-mail: jsoms2017@okayama-u.ac.jp

【運営事務局】 株式会社コングレ京都支店内
担当: 山口 良彦(やまぐち よしひこ)
〒604-8152 京都府中京区烏丸錦小路上ル手洗水町659
烏丸中央ビル6階
TEL: 075-212-0690 FAX: 075-212-0691
E-mail: jsoms2017@congre.co.jp